

金剛輪寺

KONGOURINJI



問/0749-37-3211
料/600円
P/有
住/愛荘町松尾寺874
営/8:30~17:00

鎌倉時代の本堂(国宝)、三重塔(重文)と青モミジの景観は壮麗。紅葉とは違った趣があります。

平成大曼荼羅特別公開

■5/1(土)~5/23(日) ■無料(別途入山料600円要)



仏生会花まつり

■5/5(水・祝)

本堂内でお釈迦さまに甘茶を湛ぎ、子どもたちの無事成長を祈る。ビンゴゲーム等イベントが催される。

※イベントは変更、中止の場合があります。



『特別ご朱印』
■4/1(木)~6/30(水)
■500円



大本山永源寺

EIGENJI



問/0748-27-0016
料/大人500円、中学生以下無料
P/有
住/東近江市永源寺高野町41
営/9:00~16:00

紅葉の名所として知られる永源寺。春も格別の美しさがあります。鈴鹿山脈の新緑を背景に、境内地のイロハモミジの新緑、永源寺発祥の永源寺桜(4月中旬~下旬)や苔の緑など多彩な色に包まれます。葎ぶきの方丈(本堂)に安置されているご本尊世継ぎ観音(秘仏)は、信仰を集め多くの参拝客が訪れます。

新緑特別公開

■5/1(土)~5/31(月) ■無料(入山料別途必要)

重要文化財開山寂室禅師塑像と井伊直弼新緑和歌ならびに井伊家ゆかり所蔵品公開(井伊直滋甲冑)。



第46回 寂室元光禅師奉賛茶会

■5/16(日)
■前売3,500円
■当日券4,000円
■一席券1,200円

寂室禅師奉賛茶会(表千家、裏千家、遠州流、煎茶道泰山流の各席)と献茶式

『井伊直滋甲冑 公開記念朱印』授与
■5月~7月上旬
■500円



老蘇の森奥石神社

OISOJINJYA



問/0748-46-2481
料/無料
P/有
住/近江八幡市安土町東老蘇1615
営/9:00~16:00

老蘇の森は、万葉の昔から歌に詠まれた森で、国の史跡にも指定されています。森の中には、織山を御神体とした安産延寿・狩猟・農耕の神様である奥石神社があり、本殿は、織田信長時代に建てられたもので、重要文化財に指定されています。



『御朱印』
■通年■300円

八坂神社

YASAKAJINJYA



問/0748-62-6688
料/無料
P/有
住/甲賀市水口町蟻蛾1607
営/9:00~16:00

本殿は永享11年(1439)に建立され、国の重要文化財に指定されています。毎年5月1日に近い日曜日に野洲川を神輿が渡る清め祭り「川枯祭」が斎行されます。御神木は全国の大樹の1つになっています。



『御朱印』
ご朱印は創建当初の名前、明治以降の愛称、現在の名前の3つが入った大変珍しいものです。
■通年■300円



製品上の特定ウイルスの数を減少させます
無機抗菌剤・印刷印刷前
JP061242X0001B
SIAAマークはISO 21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。



ISO 21702
抗ウイルス加工



主催/公益社団法人びわ湖大津観光協会



桜の花に彩られた季節から、新緑の緑きらめく季節へ。
春から初夏にぜひ訪れてみたい16のスポットをご紹介します。
特別拝観や特別ご朱印の授与、イベントなど各所で特別なおもてなしも行われます。ぜひ、この機会に自然と歴史豊かなびわ湖・大津、滋賀におでかけください。

びわ湖大津春のライトアップ 桜の琵琶湖疏水

令和3年 3/27(土) - 4/11(日)
18:30 - 21:30

同時開催 三井寺 春のライトアップ2021

《お問い合わせ》びわ湖大津観光協会事務局
TEL: 077-528-2772 mail: info@otsu.or.jp

- 桜の見頃**
- (長浜市) 豊公園 / 3月下旬~4月上旬
 - (彦根市) 彦根城 / 3月下旬~4月上旬
 - (愛荘町) 依智楽氏の里古墳公園 / 3月下旬~4月上旬
 - (近江八幡市) 老蘇の森奥石神社 / 3月下旬~4月上旬
 - (大津市) 石山寺・瀬田川流域 / 3月下旬~4月上旬
 - 三井寺 / 3月下旬~4月上旬
 - 琵琶湖疏水 / 3月下旬~4月上旬
 - 坂本 / 3月下旬~4月上旬
 - 比叡山延暦寺・奥比叡ドライブウェイ / 4月中旬~5月上旬
 - (東近江市) 永源寺 / 4月中旬~下旬
 - (甲賀市) 野川の桜 / 3月下旬~4月上旬

《新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組について》
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、以下の取り組みについてご理解とご協力をお願い致します。また、滋賀県内での発症状況等により、開催中止(もしくは延期)となる場合がございますので、ご了承ください。

1. マスクの着用をお願いします。
2. 会場に消毒液を設置します。手指消毒及びこまめな手洗いをお願いします。
3. 事前に発熱等の症状が無いか確認をお願いします。
入場の際に検温の協力をお願いします。(会場に検温機器がある施設のみ)
4. 密の状態にならないよう人と人の距離を開けてください。
5. 会場での人数制限をさせていただく場合がございますので、ご了承ください。



西教寺 SAIKYOJI



問 / 077-578-0013
営 / 9:00 ~ 16:30
料 / 500円 P / 有
交 / 京阪電車坂本比叡山口駅下車徒歩15分又は
JR比叡山坂本駅下車バス10分



比叡山東麓、坂本にある天台真盛宗の総本山です。聖徳太子によって開創されたが、その後長らく荒廃していたものを室町中期文明(1486)真盛上人が念仏と戒律を重んじる道場として再興しました。今なお不断念仏の伝統が受け継がれ、静かな境内に鉦の音が響き渡ります。

境内は、広く樹木に囲まれ、四季折々の表情を楽しめます。特に総門をくぐる一直線に伸びた坂道の参道は緑におおわれ圧巻。本堂は江戸時代、紀州徳川家の寄進によって建てられ、客殿は豊臣秀吉の居城だった伏見城の遺構と伝わります。いずれも重文に指定されています。宗祖大師殿の唐門からは広大な琵琶湖を望むことができます。



また、比叡山の焼き討ち後、明智光秀が復興したことで知られ、ゆかりのある遺品が数多く残され、明智光秀一族や妻照子の墓があります。



『御朱印』
■4/15~7月末日
上記期間は特別御朱印あり
■9:00~16:30
■300円



あお若葉のおもてなし 西教寺 苜づし 精進御膳

■4月~5月(タケノコの収穫状況により変更の可能性あり)
■要予約 / 2名様以上に限る1,650円(税込)
(拝観料別途)
苜ご飯・若竹汁・木の芽和え・苜煮物・天麩羅など



浮御堂 UKIMIDOU

問 / 077-572-0455
営 / 8:00 ~ 17:00
料 / 300円 P / 有
交 / JR 堅田駅から循環バス5分
堅田出町下車徒歩5分



正式名称は「海門山満月寺」。琵琶湖の最狭部堅田に、湖中にのびた橋の先に宝形造の仏殿が建っています。この浮御堂が平安中期の長徳年間(995~999)恵心僧都源信が湖上安全と衆生済度のため一堂を建て、1,000体の阿彌陀仏を安置して千体仏堂と名づけたのが起こりとされます。その後長らく荒廃していましたが、江戸時代に京都大徳寺の湘南宗沅や大軸宗般によって復興され、禅宗に改宗しました。昔から「堅田の落雁」として近江八景の一つに数えられ、芭蕉や北斎、広重など俳句や浮世絵などの題材として取り上げられてきました。老松に調和して静かに建つ姿は風雅です。



また、そばの観音堂は本堂で、浮御堂とともに登録有形文化財に指定されています。入母屋造の三間堂で内部は瓦の四半敷とし、本尊木造聖観音座像(重要文化財・非公開)を安置しています。見どころは、平成7年に改修された花天井です。90枚の花の絵がはめられています。

『御朱印』
■通年 ■300円

人気のお守り
交通安全
ミニランドセルお守り 800円

松尾芭蕉の句碑
この句は元禄4年(1691年)に芭蕉が堅田で十六夜の月を賞して詠んだ句です。



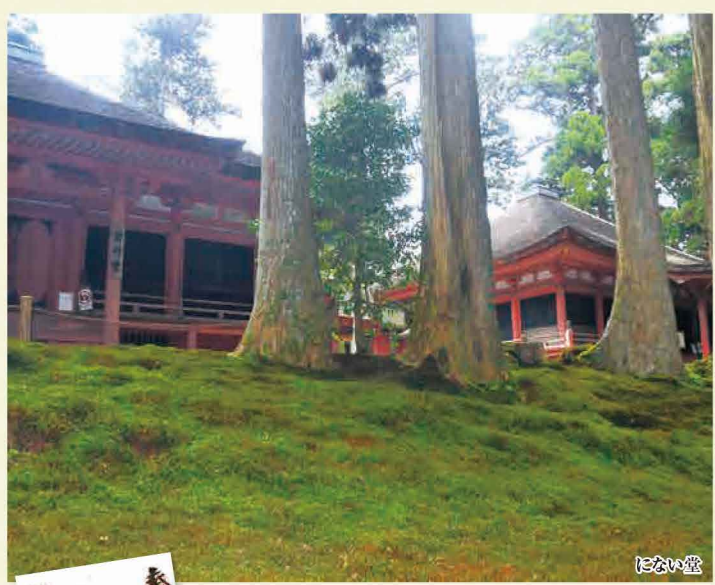
鎖明けて
月さし入れよ
浮御堂

比良三上
雪さしわたせ
鷺の橋

比叡山延暦寺 HIEIZAN ENRYAKUJI



問 / 077-578-0001
営 / 8:30~16:30(西塔、横川は9:00~16:00時期による)
料 / 1,000円 P / 有
交 / 京阪電車坂本比叡山口駅下車徒歩10分
(JR湖西線比叡山坂本駅下車徒歩20分)
坂本ケーブル下車徒歩7分



比叡山は大きく東塔・西塔・横川の3つに分けられ、これら三塔の諸堂を総称して延暦寺といいます。今から1200年前、伝教大師最澄が一乗観院(現:根本中堂)を建て開山したのが始まりです。それ以来、鎮護国家・学問修行の道場として発展し、鎌倉時代には法然・親鸞・栄西・道元・日蓮をはじめ、多くの高僧を輩出してきた事から「日本仏教の母山」とも呼ばれています。昭和62年8月には比叡山開創1200年を慶賀して世界の諸宗教の代表者が平和の為に祈るべく「比叡山宗教サミット」が行われました。なお平成6年12月には世界文化遺産に登録されました。杉木立の深い山内には現在も修行道場として厳粛な雰囲気にはまっています。また、平成28年4月より約10年に亘り国宝根本中堂が60年ぶりの大改修に入っており、中庭に設置された「修学ステージ」から改修の様子を観ることが出来ます。



比叡のさくらと青もみじ
西塔駐車場特設会場にて無料抽選会・
にない堂での坐禅体験
■4/29(木・祝)~5/9(日)
■8:00~16:30
《坐禅体験》
期間 / 5/1(土)~5/5(水・祝)
内容 / 西塔にない堂にて10時・11時・13時・14時の4回
料金 / 1,000円(税込み) 保護者同伴の小学生は無料
(拝観料別途)





問 / 077-578-0009
 営 / 9:00 ~ 16:30
 料 / 300円 P / 有
 交 / 京阪電車坂本比叡山駅下車徒歩10分
 又はJR湖西線比叡山坂本駅から徒歩20分



およそ2100年前、崇神天皇の御代7年に比叡山より麓に迎えられ創祀された全国3800社の日吉・日枝・山王神社の総本宮。境内には比叡山の神であり地主神である大山咋神を祀る東本宮、天智天皇の御代大津京遷都にあたり奈良の三輪山から勧請された大己貴神を祀る西本宮を中心に約40のお社が点在し、多くの社殿が文化財指定を受けるなど建築美を誇ります。天台宗が開かれてよりは護法神として崇められ、平安京遷都以後は都の鬼門除けを司り守護神となりました。

重文神輿の特別拝観

■4/29(木・祝)~5/5(水・祝) ■9:00~16:30 ■300円(入苑料を含む)

日吉大社年間最大の神事は4月12日から14日に行われる「山王祭」で、湖国三大祭のひとつにぞえられています。起源は桓武天皇の御代、朝廷より2基の神輿が寄進され、唐崎神社まで神幸を行ったことで、1200年以上の歴史を誇る天下の勇祭です。祭礼では7基の神輿が渡御しますが、桃山時代に造られた重文に指定されている金銅装神輿を期間中特別に拝観することができます。



『金字の特別朱印』
 (但し紙のみでのお渡し)
 ■9:00~16:30
 ■500円
 ■会場：西本宮

山王礼拝講

西本宮にて延暦寺の僧侶が法華八講の法要を営む神仏習合の神事です。



■5/26(水)
 ■9:00開式
 ■無料(入苑料要)

裏千家献茶祭

日本最古の茶園を管理する日吉大社で家元が献茶を奉仕致します。



■5/29(土)
 ■10:00開式
 ■無料(入苑料要)

庖丁まつり

清和四條流による式包丁が奉納され、古式ゆかしく神饌が供えられます。

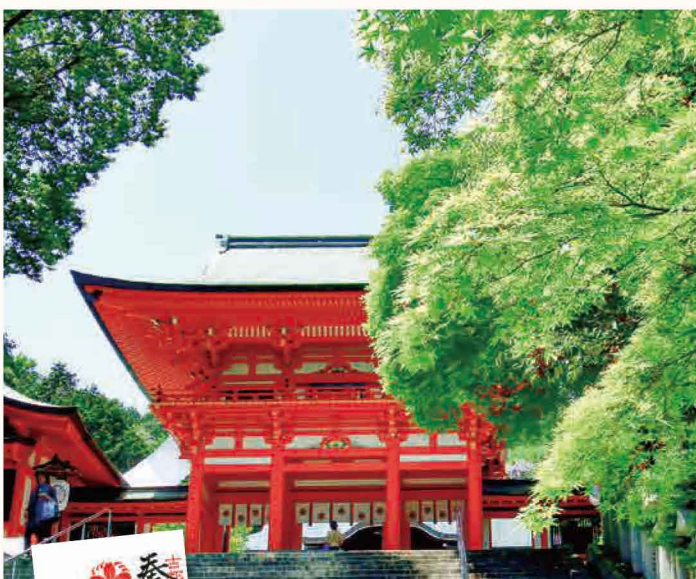


■6/2(水)
 ■11:00開式
 ■無料(入苑料要)

※いずれもコロナの状況で開催中止の可能性有り



問 / 077-522-3725
 営 / 9:00 ~ 16:30
 料 / 無料 P / 有
 交 / 京阪石山坂本線近江神宮前駅下車徒歩10分
 又はJR湖西線大津駅から徒歩20分



大化改新を行われ、近江令を制定し、日本の国の基を築かれた中興の英主と崇められる天智天皇を御祭神に、昭和15年、近江大津京旧蹟の地に創建されました。琵琶湖を眼下に見下ろす景勝地に約20万㎡の境内は深き樹林と共に心安らく風情に包まれ、朱塗の楼門をくぐると回廊づたいに外拝殿・内拝殿・本殿と続き、その素朴で重厚な造りは「昭和づくり・近江づくり」と称されて、昭和の神社建築の集大成と言われています。

天智天皇は又の御名を天命開別大神と申し上げ、その御事跡から開運・学問の神として、また日本で初めて時計を造り、時刻を知らせた時の祖神、初めて燃ゆる水(石油)を献上された故事から石油やエネルギーの祖神として崇められています。百人一首かるたゆかりの神社としても知られている。境内には時計館宝物館(休館：祝日以外の月曜日)があります。

時計館宝物館

我が国の時刻制度の始まりは、天智天皇のご治世の天智天皇10(671)年、大津の都の内裏に漏刻(水時計)を設置し、「鐘鼓を鳴らして時を知ら」(日本書紀)された事績に始まります。

当館は、昭和38(1963)年に当時我が国唯一の「時計博物館」として開館し、平成22(2010)年4月1日、「近江神宮時計館宝物館」としてリニューアルオープンし、1階には古今東西の珍しい和時計を中心に、2階には近江神宮ゆかりの名品を展示しています。



時計館宝物館

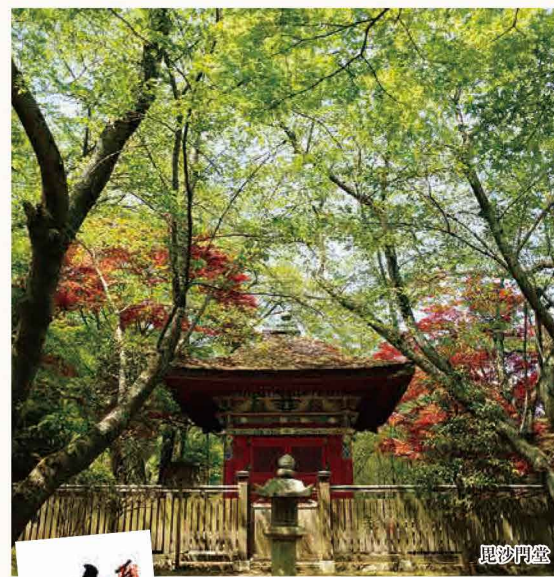
近江勸学館

近江勸学館は、学問を勧められた天智天皇のご治世の天智天皇の御事績を仰ぎ、昭和45(1970)年に設立された天智聖徳文教財団の活動拠点として、平成9(1997)年に創設された、宿泊研修施設です。競技かるたの聖地でもあり、見学も可能で、旅行、合宿、研修、会議など、様々なシーンでご利用いただける施設です。

『御朱印』
 ■通年 ■9:00~16:30
 ■300円



問 / 077-522-2238
 営 / 8:00 ~ 17:00
 料 / 600円 P / 有
 交 / 京阪電車三井寺駅下車徒歩10分



近江八景「三井の晩鐘」で名高い天台宗門宗総本山。国宝の金堂をはじめとする数々の歴史遺産の豊富さは圧巻。観音堂は西国33ヶ所観音霊場第14番札所。672年、前年の天智天皇の永後後、大友皇子と大海人皇子が皇位継承をめぐって争い、壬申の乱が勃発、壬申の乱に敗れた大友皇子の皇子の大友与多王は父の霊を弔うために「田園城邑」を寄進して寺を創建し、天武天皇から「園城」という勅額を賜ったことからとされています。貞観年間(859~877)になって、智証大師円珍和尚が、園城寺を天台別院として中興。円珍の死後、山門(延暦寺)寺門両派の対立や源平の争乱、南北朝の争乱等による焼き討ちなど幾多の法難に遭遇しましたが、智証大師への信仰に支えられた人々によって支えられ、その教えは現在にまで生きついています。

『慈悲と忿怒のほとけ』国宝・金堂内陣特別拝観

■4/29(木・祝)~5/16(日) ■8:30~16:30 ■500円(入山料別途)

秘仏・弥勒仏をまつる金堂内陣の特別拝観。近江西国霊場第4番札所の三井寺別所・近松寺ご本尊・千手観音立像(平安時代の金銅仏)、繊細な鍍金文様が美しい不動明王二童子像(平安時代)、慶歴仏師による不動明王坐像(鎌倉時代)、足利将軍の遺髪を納めた可能性がある地藏菩薩坐像(南北朝時代)など「慈悲と忿怒のほとけ」を代表する「観音・地藏・不動」の各尊像を内陣にてお参りいただけます。



不動明王二童子像



『三井別所近松寺千手観音御朱印』
 ■4/29(木・祝)~5/16(日)
 ■300円■会場：本堂

谷口智則展

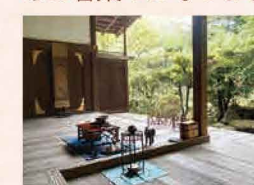
~絵本の世界~

日本を代表する絵本作家谷口智則の展覧会

■3/20(土)~5/9(日)
 ■8:00~16:30
 ■無料



あお若葉のおもてなし



※画像はイメージです

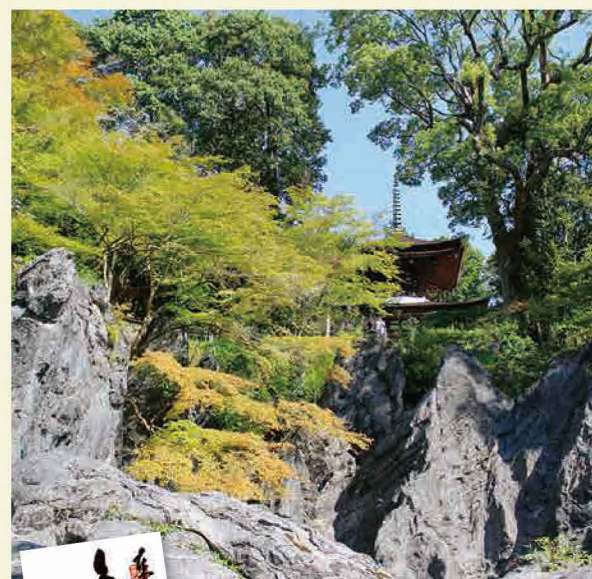
三井寺自然茶会

三井寺境内に自生する古樹から摘んだ新芽を釜炒りした出来立ての緑茶を味わってください。また同じ茶樹から摘んだ烏龍茶、紅茶と飲みくらべていただけます。三井寺でもっとも神聖な場所である新緑の三井寺を感じてください。
 ■午前の部 10:30~12:00 ■午後の部 14:00~15:30
 ■各回限定6名 ■お申込み/三井寺事務所 077-522-2238
 ■会費1人5,000円(茶菓山川の和菓子付、拝観料別途)

■5/15(土)、16(日)
 ■於/唐院(通常非公開)



問 / 077-537-0013
 営 / 9:00 ~ 16:30
 料 / 600円 P / 有
 交 / JR石山駅から京阪バス石山寺山門下車
 又は京阪電車石山下車徒歩10分



瀬田川に臨み、伽藍山を負った勝景の場に在ります。東寺真言宗の大本山で山号を「石光山」といい、西国33ヶ所霊場の第13番札所になっています。

天平19年(747)聖武天皇が東大寺造営の際、大仏鑄造用の黄金発掘の祈願のため、良弁に念持仏を祀らせたのに始まります。平安時代には菅原道真の孫淳祐により真言密教道場として中興。この頃から貴族の参詣参籠が相次ぎ、物見遊山を兼ねた「石山詣」が盛んに行われました。平安文学の格好の舞台ともなり、紫式部が寺に籠もって源氏物語の構想を練った、などというエピソードが伝えられています。境内には珪灰石が露出し、本堂や多宝塔などの諸堂宇と調和し、梅・桜・ツツジ・牡丹・紅葉など季節の花にも映え、近江八景の1つ「石山の秋月」で月の名所でもあります。

光堂での三尊特別公開

■4/29(木・祝)~5/16(日) ■9:00~16:00 ■500円(入山料別途)

この時期だけ特別に公開される光堂の特別拝観。光堂本尊の阿弥陀如来坐像(鎌倉時代)、旧多宝塔の本尊と伝わる大日如来坐像(平安時代・重文)、淀殿寄進による如意輪観音半珈像(桃山時代)にお参りいただけます。光堂へ続く参道では、あお若葉のほか、クリシマツツジをはじめ、牡丹や芍薬、フジなど、境内を鮮やかに彩る花々も楽しめます。



阿弥陀如来坐像



『多宝塔記念御朱印』
 ■4/29(木・祝)~5/16(日)
 ■300円■会場：本堂

大津絵展 ~大津絵の筆のはじめは何佛~

江戸時代初期に、近江国追分を発祥とする民俗絵画。もとは佛画として信仰の対象であったが、以降東海道を旅する旅人の土産、護符(お守り)として知られ、世俗画へと転じた。今回、石山寺が所蔵する大津絵のほか、珍しい立体像も展示される。

■会場：世尊院 ■4/24(土)~5/16(日)
 ■9:00~16:00 ■無料



あお若葉のおもてなし



期間中、石山寺の門前のお店では「あお若葉の競演」にちなんだメニュー、商品をご用意しています。お寺の拝観のあとに、ぜひお立ち寄りください。

八 建部大社 TAKEBETAISHA

特別行事 御朱印
 問/077-545-0038
 営/9:00~16:00(祈禱受付)
 料/無料 P/有
 交/JR石山駅からバス建部大社前下車
 又は京阪電車石坂線唐橋前駅下車徒歩15分



瀬田唐橋から東へ約500m、境内には近江一の宮と尊ばれた風格が漂います。日本書紀によれば、戦功のあった日本武尊を祭る為に神崎郡に創建、天武天皇4年(675)に勅命により近江国衙の置かれた、この地に移されたと伝わります。その後、源頼朝が伊豆流刑の途中、源家再興を祈願し、晴れて満願の後は、除災・出世の神として信仰を集めています。

本殿は日本武尊を、権殿には大己貴命をそれぞれお祀りし、拝殿両側には摂末社合わせて八社が向かい合うように建っています。境内左手には縁結びの神として名高い大野神社(地主神)があります。社宝木造女神像(平安時代)は恥じらう女性を表現した神像で、宝物殿に納められています。

毎年8月7日に行われる「船幸祭」は日本武尊の海路東征に由来する水上祭で、大神輿に乗せた御座船が約20隻の供船を従え、瀬田川を巡行します。



『近江国一之宮の朱印』
 ■通年
 ■御朱印の受付は17:00まで
 ■300円



夏越し大祓式
 ~半年間の罪穢を祓う神事~
 ■6/30(水)
 (内茅の輪設置6月上旬から)
 ■16:00~
 ■無料



十 立木山寺 TACHIKISANJI

特別行事 御朱印
 問/077-537-0008
 営/平日9:00~16:30
 料/無料 P/有
 交/JR・京阪電車石山駅より京阪バス20分
 立木観音下車石段約800段



瀬田川(南郷)洗堰から約2km南下した瀬田川の西岸、鹿跳溪谷から800段あまりの石段を上った立木山中腹にあるお寺。正式な寺の名称は「立木山安養寺」です。平安時代初期、弘法大師空海が42歳の厄年に、1本の立木から自身の背丈にあわせて聖観世音菩薩の尊像を彫り上げ建立されました。以来、古くから厄除けに霊驗あらたかな観音さまとして「立木観音」や「立木さん」と呼び親しまれ多く信仰を集めています。



立木観音の参詣
 約800段の石段を上ると、鹿に乗られた弘法大師像が迎えてくれます。境内の手水場にて心身を清められた後、本堂(観音堂)の正面とお裏から観音様を拝まれて、さらに石段を上り厄除けの鐘を一撞きして、その上の奥之院までお参りします。

『御朱印』
 ■通年
 ■9:30~16:30
 ■300円

花まつり
 ~お釈迦さんの生誕を祝う行事~
 ■3/20(土)~4/8(木)
 ■9:00~16:30
 ■無料



九 岩間寺 IWAMADERA

特別公開 御朱印 特別行事
 問/077-534-2412
 営/9:00~16:30
 料/500円 P/有
 交/JR・京阪電車石山駅より京阪バス
 中千町下車徒歩60分
 ■17日は直行バスあり(要確認)



養老6年(722)岩間山正法寺を開山した泰澄大師は、頻発する雷難を本尊千手観音の法力を用い封じ込め、雷神を説いたところ、雷神は弟子になる事を願い出ました。雷神は恩に報いるため、この寺に参詣するものに雷をはじめとする災難が及ばないようにするとの誓願を立てました。そして、水の乏しかった岩間山正法寺と参詣する信心の方々のために爪で岩を破り、穴を掘り、水を湧かしたと伝承されているのが雷神爪掘湧泉です。

近年、疫病・天災などの様々な災難が世界中で多くの人々の心と体を悩ませています。ここに、来る令和4年(2022)に岩間山正法寺開山1300年を期して、御世安寧と人々の平安を祈る場とすべく雷神爪掘湧泉に雷神像を祀り広く災難避けの祈念を捧げることを発願いたしました。是非、雷神の御尊像からお参りいただき、供に世界の災難消除、福德円満をお祈りしていただければと思います。



『御本尊千手観音菩薩御朱印』
 ■通年 ■9:00~16:30
 ■300円

雷除法要不動護摩供
 ■4/17(土)
 ぼけ封じ祈願会
 ~柴燈護摩供、火渡り火生三昧、ぼけ封じほうろく後~
 ■5/17(月)



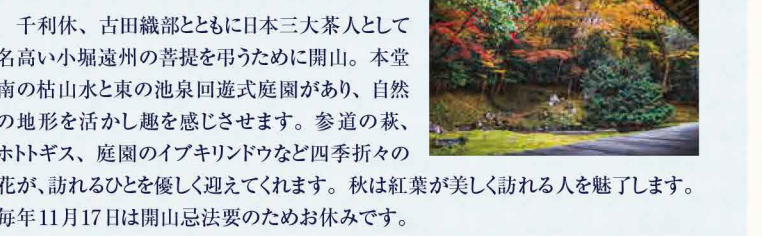
人気のお守り
 雷除けお札、ぼけ封じなすお守り

ゆかりのお土産
 岩間の霊水、西国三十三所近江六ヶ寺限定「浄土の鳥」

近江孤篷庵 OMIKOHOUAN

特別御朱印
 問/0749-74-2116
 料/300円 P/有
 住/長浜市上野町135
 営/9:00~17:00(11月~3月)9:00~16:00

千利休、古田織部とともに日本三大茶人として名高い小堀遠州の菩提を弔うために開山。本堂南の枯山水と東の池泉回遊式庭園があり、自然の地形を活かし趣を感じさせます。参道の萩、ホトトギス、庭園のイブキリンドウなど四季折々の花が、訪れるひとを優しく迎えてくれます。秋は紅葉が美しく訪れる人を魅了します。毎年11月17日は開山忌法要のためお休みです。



彦根城 HIKONE JO

問/0749-22-2742(彦根城運営管理センター)
 料/一般800円、小中学生200円
 P/有
 住/彦根市金亀町1-1
 営/8:30~17:00(天守最終入場16:30)

400年以上の時を経て当時の姿を留める国宝・彦根城。きわめて保存状態が良く、天守をはじめ、重要文化財の各櫓や、庭園などが残っています。また、敷地面積8,700平米(2,700坪)ある名勝玄宮園ではイロハモミジ138本をご覧いただくことができます。



『あお若葉特別入城記念符』・玄宮園『あお若葉特別御感庭符』
 ■各1,000枚限定
 ■4/29(木・祝)~7/4(日)
 ■300円